



JTEKT

JTEKT
STINGS

2017/2018
Season

内定選手の西田がチームの救世主に! 執念でファイナル6進出を決める。

V・プレミアリーグ男子 2017/18:レギュラーラウンド

順位	チーム	パナソニック	豊田合成	アロイス	JTサンダース	サンパリス	ジェイテクト	フロンティア	FC東京	試合数	ポイント	勝	負	勝率	得セット	失セット	セット率
1	パナソニック	0-3	3-1	3-0	3-1	3-1	3-1	3-1	3-0	21	52	18	3	0.86	57	23	2.48
2	JTサンダース	3-2	3-1	3-0	3-1	3-0	3-0	3-0	3-0	21	41	15	6	0.71	49	31	1.58
3	サンパリス	1-3	3-0	3-1	3-0	3-0	3-1	3-1	3-0	21	38	14	7	0.67	46	34	1.35
4	ジェイテクト	0-3	3-0	3-1	3-1	3-1	3-1	3-1	3-0	21	37	12	9	0.57	46	36	1.28
5	フロンティア	1-3	3-0	3-1	3-1	3-1	3-1	3-1	3-0	21	28	8	13	0.38	38	45	0.84
6	FC東京	1-3	3-1	3-0	3-0	3-0	3-1	3-1	3-0	21	25	8	13	0.38	33	45	0.73
7	アロイス	1-3	3-1	3-1	3-0	3-1	3-1	3-1	3-0	21	23	7	14	0.33	33	49	0.67
8	パナソニック	0-3	3-1	3-0	3-1	3-1	3-1	3-1	3-0	21	8	2	19	0.10	19	58	0.33

V・プレミアリーグ男子 2017/18:ファイナル6

順位	チーム	パナソニック	豊田合成	JTサンダース	アロイス	ジェイテクト	サンパリス	試合数	ポイント	勝	負	勝率	得セット	失セット	セット率
1	パナソニック	0-3	1-3	3-0	3-1	3-0	3-0	5	14	3	2	0.60	10	7	1.43
2	JTサンダース	3-0	1-3	2-3	3-0	3-1	3-1	5	14	3	2	0.60	12	7	1.71
3	サンパリス	3-1	3-1	0-3	3-1	3-2	3-2	5	13	4	1	0.80	12	8	1.50
4	ジェイテクト	0-3	3-2	3-0	3-2	3-2	3-2	5	12	4	1	0.80	12	9	1.33
5	フロンティア	1-3	0-3	1-3	2-3	3-0	3-0	5	4	1	4	0.20	7	12	0.58
6	FC東京	0-3	1-3	2-3	2-3	0-3	3-0	5	3	0	5	0.00	5	15	0.33

2017/18 V・プレミアリーグは好スタートを切った。堺、FC東京に連勝するなど、新キャプテンの浅野を筆頭に、カジースキ、清野のサイド陣が好調をキープ。要所でミドルブロッカーの金丸、福山が速攻を決め、セッターの久保山も巧みにトスを散らした。新監督のアーマツ監督も開幕戦のあと、「自分たちのプレーができた」と胸を張った。しかし、波に乗り切れず、1、2レグはともに3勝4敗。勝負どころの決定力に問題を抱えた。カジースキをオポジットにコンバートしたが、課題の解決には至らなかった。チームを救ったのが内定選手の西田だ。デビューは3レグの堺戦。同じく内定選手の中根とともに二枚替えでコートに入った。試合はストレートで落としたが、17歳の活躍は強烈なインパクトを残した。この試合をきっかけにチームも息を吹き返す。そして、1月21日の東レ戦に3-1で勝利。2試合を残してファイナル6進出を決めた。ファイナル6は1勝4敗と苦しんだものの、希望の光が見えたシーズンになった。

※ポイント=3-0・3-1勝利3点、3-2勝利2点、2-3勝利1点、1-3・0-3敗戦0点 ※順位は勝率、セット率が同じ場合、得点率により。 (1)ファイナル6進出チームにはレギュラーラウンドの成績(順位)により予め、次の持ち点(ポイント)を付与する。 [ファイナル6進出チームに付与する持ち点の内容] 1位5点、2位4点、3位3点、4位2点、5位1点、6位持ち点なし ※左記の順位はレギュラーラウンド順位 (2)ファイナル6の順位は、ファイナル6進出時に付与された持ち点(ポイント)に、ファイナル6で獲得したポイントを加算し、ポイントの高いチームを上位とする。ポイントが並んだ場合は、レギュラーラウンド順位上位チームを上位とする。



順当にベスト4に進むも、 準決勝で豊田合成に敗戦。

平成29年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会

12/16	★3-0	vs 近畿大学	WIN
12/17	★3-0	vs 筑波大学	WIN
12/23	●1-3	vs 豊田合成トレフェルサ	LOSE

初戦は近畿大にストレート勝ち。柳澤、渡邊らが活躍し、第3セットは江頭もコートに立った。筑波大との準々決勝は、カジースキの右腕が炸裂。強烈なサーブを次々と相手コートに突き刺して賞讃を示した。準決勝は豊田合成と対戦。1セットビハインドで迎えた第2セットは、粘りのプレーで5-10から逆転する。途中から入った松原が躍動し、リベロの中根、本間も堅守を披露。攻守に勝負強さを発揮し、貴重な1セットをもぎ取った。第2、3セットも最小得失点差での決勝だった。負傷退場した浅野に代わって入った柳澤も懸命にプレー。敗れはしたが、最後までファイティングスピリットを見せた。

ルーキーがはつらつプレーを披露! 2年ぶりに銀メダルを獲得する!

第67回 黒鷲旗 全日本男女選抜バレーボール大会

4/30	★3-2	vs 早稲田大学	WIN
5/1	★3-1	vs 警視庁フォートファイターズ	WIN
5/2	●2-3	vs 東レアローズ	LOSE

5/3	★3-2	vs JTサンダース	WIN
5/4	★3-0	vs FC東京	WIN
5/5	●1-3	vs パナソニックパンサーズ	LOSE

初戦は早稲田大に勝ったものの、フルセットまでもつれ込んだ。セットカウント0-2で迎えた第3セット、チームを立て直したのがキャプテンの浅野だ。第4セットは西田が活躍。勝負の行方を第5セットに持ち込むと、19-17で熱戦を繰り出した。続く警視庁戦は、セッター渡邊が活躍。第3戦は東レにフルセットで敗れ、D組2位で決勝トーナメントに進出した。だが、グループ戦の厳しい戦いがチームを強くした。準々決勝は、JTを相手にフルセットの勝利。途中からコートに立ったルーキーの中根が奮闘した。FC東京との準決勝は36-34の壮絶な第1セットを制してストレート勝ち。パナソニックとの決勝戦は、ケガで準決勝を欠場したカジースキが第2セットから戻ってきた。そのカジースキが得点を重ねて第3セットを奪取。西田も得点源として活躍した。最後は1-3で敗れたが、チームは大会を通して成長し、そして、一つになった。ベスト6の浅野と西田はともに初選出。西田は敢闘賞と若鷲賞(最優秀新人賞)を受賞し、ベスト6との同時受賞は史上初。



PLAYER & STAFF

プレイヤー & スタッフ

1	マテイ・カジースキ ウイングスバイカー	生年月日 1984/09/23 身長・体重 203cm/98kg 出身地 フルガリア 出身校 豊田大学 最高到達点 360cm ニックネーム マテイ
2	金丸 晃大 ミドルブロッカー	生年月日 1984/03/04 身長・体重 191cm/71kg 出身地 埼玉県さいたま市 出身校 豊田大学 最高到達点 328cm ニックネーム マル
3	渡邊 峻 セッター	生年月日 1994/01/11 身長・体重 193cm/90kg 出身地 長野県飯田市 出身校 豊田大学 最高到達点 330cm ニックネーム シュン
4	福山 汰一 ミドルブロッカー	生年月日 1993/12/20 身長・体重 193cm/77kg 出身地 熊本県熊本市 出身校 早稲田大学 最高到達点 335cm ニックネーム タイチ
5	清野 真一 オポジット	生年月日 1988/05/23 身長・体重 186cm/78kg 出身地 愛知県豊田市 出身校 東海大学 最高到達点 330cm ニックネーム フェイス
6	高橋 慎治 セッター	生年月日 1980/07/16 身長・体重 181cm/75kg 出身地 愛知県豊田市 出身校 松山大学 最高到達点 337cm ニックネーム シンジ
7	柳澤 広平 ウイングスバイカー	生年月日 1993/05/24 身長・体重 188cm/77kg 出身地 長野県松本市 出身校 東京学芸大学 最高到達点 337cm ニックネーム コヘ
8	郡 浩也 ウイングスバイカー	生年月日 1996/02/06 身長・体重 195cm/82kg 出身地 大阪府大阪市 出身校 日本大学 最高到達点 335cm ニックネーム ヒロヤ
9	辰巳 正敏 ミドルブロッカー	生年月日 1989/01/09 身長・体重 189cm/80kg 出身地 埼玉県上尾市 出身校 中央大学 最高到達点 325cm ニックネーム タツミ
10	松原 広輔 ウイングスバイカー	生年月日 1985/07/04 身長・体重 180cm/70kg 出身地 静岡県浜松市 出身校 順天堂大学 最高到達点 335cm ニックネーム マツタン
11	袴谷 亮介 オポジット	生年月日 1988/11/01 身長・体重 192cm/82kg 出身地 岐阜県羽島市 出身校 日本体育大学 最高到達点 328cm ニックネーム ハカマヤ
12	興格 亮 リベロ	生年月日 1983/08/14 身長・体重 180cm/68kg 出身地 宮城県西仙台市 出身校 愛知学院大学 最高到達点 325cm ニックネーム ロギ
14	西田 有志 オポジット	生年月日 2000/01/30 身長・体重 187cm/80kg 出身地 三重県いなべ市 出身校 海星高校 最高到達点 344cm ニックネーム コウジ
15	中根 駿太 セッター	生年月日 1996/03/02 身長・体重 173cm/66kg 出身地 佐賀県同根市 出身校 筑波大学 最高到達点 320cm ニックネーム ソウタ
16	久保山 尚 セッター	生年月日 1992/02/04 身長・体重 180cm/72kg 出身地 福岡県三井郡 出身校 東海大学 最高到達点 328cm ニックネーム クロヤマ
17	本間 隆大 リベロ	生年月日 1991/10/17 身長・体重 178cm/75kg 出身地 神奈川県相模原市 出身校 早稲田大学 最高到達点 330cm ニックネーム ホンマ
19	浅野 博亮 ウイングスバイカー	生年月日 1990/10/06 身長・体重 178cm/70kg 出身地 長野県安曇野市 出身校 愛知大学 最高到達点 330cm ニックネーム アサノ
20	江頭 広樹 ウイングスバイカー	生年月日 1992/09/28 身長・体重 190cm/97kg 出身地 佐賀県三基郡 出身校 中央大学 最高到達点 335cm ニックネーム エガチヤン
21	廣瀬 優希 ミドルブロッカー	生年月日 1992/12/13 身長・体重 197cm/97kg 出身地 茨城県日立市 出身校 慶応義塾大学 最高到達点 330cm ニックネーム ヒロセ

顧問 田中 明文	部長 牧野 一久	GM 早野 容司	副部長 長井 浩二	アドバイザー 宮下 和広	チーフマネジメントスタッフ 寺嶋 大樹
総監督 増成 一志	監督 アーマツマサユキ	コーチ兼選手 高橋 慎治	コーチ 阿部 純也	アシスタントコーチ 細田 寛人	メディカルトレーナー 小林 正和
アナリスト 池原 賢	マネージャー 大橋 秀俊	通訳 石井 純	外部派遣 豊田 昇平	マネジメントスタッフ 上村 達也 其原 健太 四方 裕美子 Jr.指導普及・強化育成担当 宗宮 直人	